



東北ブロック協議会報告

県士会会長 伊藤 和夫

日時 平成16年4月17日 14時～17時
場所 岩手リハビリテーション学院

<議案>

1) 報告事項

- 第21回学会(山形)報告並びに監査報告
- 第22回学会(秋田)準備報告
- 第23回学会(岩手)準備報告
- 学術局会議報告

2) 議事

- 1.平成15年度収支決算並びに会計監査報告
- 2.平成16年度予算
- 3.学術局提出議題
 - 講師謝礼基準案
 - 学会参加費
 - 演題審査用紙
- 4.継続審議事項
- 3.その他

<報告>

- 1) 平成15年11月8～9日開催,参加会員384名,学生190名,会員外6名合計580名。収入3,410,004円,支出3,381,830円、残28,174円。監査報告は,1)諸会議の明細,2)一部領収書の名義,3)PCプロジェクターの購入の件,4)予算と決算額の幅,5)協賛金の額,6)運営(修正,補正予算)について報告がされた。また,前回開催の申し送りについて要望が出された。
(略,開催要項は別紙)

テーマ,日程は前回報告済み。特別講演,シンポジウム,セミナー,一口述15,ポスター30を見込む。参加規模300人,佐藤学会長,佐々木副学会長,事務局滝沢中央病院。東北理学療法学16号の発刊(4/19発送),部数は2345部,見積もりは1,181,757円。平成15年11月の拡大編集会議報告にも基づいた検討報告がされた。主な内容は査読,投稿,座長推薦等である。

- 2) 1.一部修正があるが,承認。
- 2. 予算では会員を250名増で見込む。予算規模は595万円,事業と管理比率は88.5:11.5%である。
- 4. 協会基準を適用し,協会会員は一律2万円,旅費,宿泊費を支払う。
非会員を会員より減額する提案は,否決。
演題審査用紙の見直しは了承。
- 4.疫学データ収集と大学,大学院移行推進については意見交換を行う。
- 5.その他;山形学会でPCプロジェクターを購入したことについて討議した。結論として,予算の立案,協賛金の取り扱い,補正予算の検討,理事会での討議(前回の宮城学会の教訓),情報交換の時期と方法,プロジェクターはブロック内で使用すること,となった。

以上

平成16年度診療報酬改定について

社会局保健制度対策班 板井英樹

今回の診療報酬改定に当っては、改定率が±0でありながら、その改定項目及び内容に至っては、メリハリがつけられた評価となっており、加えて、次回の改定を睨んだものとなっているとの医業コンサルタントの見解です。改定項目をいくつかピックアップしてみると「難易度、時間、技術力等を踏まえた評価 - 手術項目」、「疾病の特性等に応じた評価 - DPC / ハイケアユニット / 亜急性期入院医療管理料」、「医療機関等の機能に応じた評価 - 新臨床研修制度への評価 / 初診料の病院・診療所間の格差是正」などが挙げられています。リハビリテーション分野においては、対象疾患の拡大、逡減・算定制限の見直し等により幾分緩和されたイメージがあります。

以下は、リハビリテーション部門の改訂内容について整理したものです。

1) 早期加算対象疾患の拡大

急性発症した脳血管疾患等の患者に対してリハビリテーション計画を作成し、この計画に基づき理学療法 I・II、作業療法 I・II の個別療法を行った場合に、早期リハビリテーション加算として90日を限度として算定する。

「急性発症した脳血管疾患等の疾患の患者」とは以下に示す患者であり、理学療法による治療が必要と認められる者。

1. 脳血管疾患の患者

(急激な意識障害発作を伴った脳内出血・脳塞栓・脳血栓・くも膜下出血・脳動脈瘤破裂等を行い、症状の緩徐な慢性脳循環不全症等はこれに該当しない)

2. 脊髄損傷等の脳・脊髄(中枢神経)外傷の患者

3. 大腿骨頸部骨折の患者

4. 下肢・骨盤等の骨折の患者

5. 上肢骨折の患者

6. 開腹術、開胸術後の患者

7. 先天性股関節脱臼等の手術後の患者(15才未満のみ)

8. 脊椎、関節の手術を受けた患者

9. 関節鏡下の半月板切除、滑膜切除の手術を受けた患者

=以下、新設定=

10. 脳腫瘍などの開頭術後

11. 急性発症した脳炎、ギランバレーなどの神経筋疾患

12. 高次脳機能障害の患者

13. 脳性麻痺の患者

14. 四肢(手部、足部も含む)の骨折・切断・離断・腱損傷

15. 脊椎、肩甲骨、関節の手術後の患者

16. 四肢の熱傷(II度:体表面積15%以上, III度:体表面積10%以上)

17. 気道熱傷を伴う熱傷の患者

18. 多発外傷の患者

19. 植皮術後の患者

* 急性発症した脳血管疾患等の患者について

開腹・開胸術後、脳腫瘍などの開頭術後、脊椎・肩甲骨・関節の手術後、植皮術後、先天性股関節脱臼術後の患者については、当該手術の日を発症日とする。

高次脳機能障害の患者については「高次脳機能障害診断基準」に基づいた診断がなされた日をもって発症日とすることができる。

* 新たな脳血管疾患が発症した場合について

临床上急激に発症し、画像診断等において新たな発症が確認され、かつ当該疾患への急性期治療がなされた場合を指し、出血性梗塞・脳血管攣縮等脳卒中急性期に出現する一連の病態によって生じた症状増悪はこれに該当しない。

2) 集団療法に関する逡減・算定制限の見直し

=改訂前=

集団療法(1日あたり:2単位限り, 1月あたり:8単位限り)

=改訂後=

「急性発症した脳血管疾患等の患者」は発症後180日以内に限り, 1月あたり12単位まで算定可能

3) 肺機能訓練に関する個別算定改訂

=改訂前=

肺機能訓練については理学療法の集団療法により算定する。

=改訂後=

個別療法の算定を認める。

この場合、肺機能訓練と同時に行った酸素吸入の費用は理学療法の所定点数に含まれる。

4) 介達牽引・消炎鎮痛処置について

=改訂前=

介達牽引については、器具等による消炎鎮痛処置を含む。

5回以上行った場合には、5回目以降は所定点数の100分の50相当を算定する。

=改訂後=

介達牽引（独立した技術として再評価）{1日につき：35点}

手技による消炎鎮痛処置との併用の場合はどちらか主たるものにて算定する。

急性発症した脳血管疾患等の疾患の患者であって発症後180日以内の者については、7回以上行った場合は、7回目以降については所定点数の100分の50相当を算定する。

200床以上の病院で算定する外来診療料には包括される。

5) 心疾患リハビリテーション料の施設基準の見直し{1日につき550点}

=改訂前=

特定集中治療室、救命救急入院料を算定している医療機関

=改訂後=

循環器科または心臓血管外科を標榜し、当該診療科の医師が常時勤務しており、緊急手術や緊急の血管造影検査を行える体制が確保されている。

6) 言語聴覚療法の見直し（新設）

言語聴覚療法 の新設(個別100点, 集団40点)。

早期リハビリテーション加算の算定要件に追加する。

訪問リハビリテーション指導管理料の算定要件に追加する。

7) 亜急性期入院医療管理料（新設）

{1日につき2050点}

亜急性期入院医療管理料を算定する病室は、急性期治療を経過した患者、もしくは在宅・介護施設からの患者であって症状の急性増悪した患者等に対して、在宅復帰支援機能を有し、効率的かつ密度の高い医療を一定の期間（90日）

提供する病室である。当該病室に入室してから7日以内（当該病室に直接入院した患者を含む）に医師、看護師、在宅復帰支援を担当するもの、その他必要に応じ関係職種が共同して新たに診療計画を作製し、文書により病状、症状、治療計画、検査内容および日程、手術内容及び日程、推定される入院期間について、患者に対し説明を行い交付すること。

算定に関する条件

- ・病室単位で算定。一般病床数の一割以下の病床数。
- ・2.5対1以上。看護職員の最小必要数の7割以上が看護師。
- ・在宅復帰支援を担当するものの配置。
- ・6割以上が居宅、介護老人施設、介護老人福祉施設等に退院。
- ・診療録管理加算を算定している保健医療機関。（診療録管理加算の施設基準は別途あり）

8) その他、新設となった管理料・加算について

ハイケアユニット入院医療管理料{3700点}

褥創患者管理加算{20点}

有床診療所入院基本料{40点}

臨床研修病院入院診療加算{30点}

肺血栓塞栓予防管理料{300点}など

（上記については亜急性期管理料と同様にそれぞれ算定要件があります。）

質問、ご意見等の問い合わせはこちらをお願いします。

国民健康保険百石病院 リハビリテーション科
板井 英樹

TEL 0178-52-3111 FAX 0178-52-3110

E-mail : ex0178@hi-net.ne.jp

平成16年度事業計画

【事務局事業計画】

事務局 後藤明教

昨年度、士会員数も300人を超えるまでになり、事務局の業務も急激に増えてきました。士会事業が円滑に実施できるよう努力はしていますが、日常の病院業務をしながらでは、処理しきれないようになってきています。もうそろそろ、専従の事務局員を配置する必要もあるかと思っておりますので、今年度は、今後の展望を考えながら運営していく予定です。

総務部：部長 佐藤比呂子

- ・会員管理に配慮する。また、公文書等、各種文書の発行および管理を行う。
- ・メールでの情報提供を推進する。
- ・会員名簿の作成。
- ・郵送物については、メール便を有効活用する
- ・インターネットのADSLへの変更。

財務部：部長 佐藤 洋

- ・全会員の会費の自動引き落としを推進
- ・予算施行の円滑化

ニュース編集部：部長 梅村孝博

- ・ニュース編集部長の交代
- ・ニュース編集部員を各ブロックに配置し、編集作業の効率化を目指す。
- ・ホームページの充実により、士会ニュースの内容および発行回数を今後検討

福利厚生部：部長 藤田俊文

- ・新入会員歓迎会や情報交換会の実施
- ・スポーツ交流会の開催

調査資料部

- ・各部局より依頼の調査に対応

スポーツ理学療法部：部長 小田桐 愛

(健生病院)

- ・研修会を1回開催予定
- ・研修部：担当 佐井川匠秀(芙蓉会病院)
- ・特別講習会
テーマは現在検討中、9~11月頃予定
- ・現職者講習会
テーマ「PNF-基礎編」 9~10月頃予定
- ・定例研修会
平成16年度から名称を変更予定
テーマは症例検討を予定
- ・学術誌編集部：担当 長谷川 至(弘前大学)
- ・理学療法研究第22号の編集・発行
(広告掲載を検討)
- ・学会部：担当 尾田 敦(弘前大学)
- ・第29回青森県理学療法士学会の準備
学会長：山谷光仁(十和田市立中央病院)
- ・研究協力係
研究活動サポート体制の整備
- ・その他
- ・県士会員の研究業績をホームページで公開
- ・各種専門部設置に向けての準備
- ・各ブロック内の学術活動の強化
(各ブロック担当学術局員)
東青：佐井川匠秀(芙蓉会病院)、須藤 宗
(あすなる学園)
中弘南黒：長谷川 至(弘前大学)
西北五：館山智格(西北中央病院)
三八：加藤義人(なかざわ整形外科)、工藤洋平(八戸平和病院)
上十三：板井英樹(百石病院)、西向綾子(七戸病院)
むつ下北：濱谷 求(むつ総合病院)

【学術局事業計画】

学術局 長谷川 至

新人教育部：担当 長谷川 至(弘前大学)

- ・3~4回の研修会開催を予定、うち1回は2日間程度集中で行う。案内については、随時ニュースまたはホームページに公開致しますのでご覧下さい。

研究助成制度(助成総額10万円,1~2件)

募集期間：4月1日~6月20日頃

選考期間：6月20日頃~30日

研究期間：7月1日~平成17年2月28日

収支報告書提出期限：平成17年2月28日

研究発表：第29回青森県理学療法士会

(平成17年3月)

論文投稿：理学療法研究第22号または第23号

【社会局事業計画】

社会局 中村 正直

1.保健・福祉部

- ・診療報酬改定に関する情報収集と会員への提供

2.地域活動部

地域活動班

- ・各種会議及び講習会への会員の派遣と報告
- ・隣接学際領域における本会員が行っている研修活動の調査
- ・隣接学際領域に対する理学療法啓蒙運動(P.T週間実行委員会と共同)
- ・障害児療育に対する支援活動

3.国際交流部

- ・韓国水源市物理療法士会との連絡調整
- ・その他の情報収集

【外交局事業計画】

外交局 小村 博

1. 理学療法週間実行委員会

- ・施設見学～県内会員所属病院にて実施
- ・オープンキャンパスへの協力～青森県立保健大学
- ・小学生職場訪問の対応
- ・健康祭への参加（弘前市・八戸市・鶴田町）

- ・スポーツ理学療法公開講座開催
- ・理学療法週間グッズの用意（ボールペンネーム入り）

2. ホームページ管理委員会

- ・事業委託～具体的な運営について検討していく

3. 県民向け新聞の発行

- ・あおもりいきいき理学療法（NO. 2）の発行
- * 具体的な事業の期日・内容などはその都度会員にお知らせいたします。

理学療法研究第22号（2005年3月発行予定）の投稿募集のご案内

学術局学術誌編集部 長谷川 至

理学療法研究第22号（2005年3月発行予定）の原稿を募集致しております。投稿を希望される方は、理学療法研究第21号の投稿規定および執筆要綱 p51～53 をご覧頂き、締め切り日までに原稿を下記投稿先に郵送にてお送り下さい。なお、投稿原稿のフロッピーディスクについては、校閲後にあらためて提出（11月上旬）して頂きますので、その旨よろしく願いたします。

投稿締切日：2004年9月30日（木）必着

投稿先・問い合わせ先

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内

青森県理学療法士会学術局 学術誌編集部 長谷川 至 宛

TEL & FAX : 0172-39-5981

E-mail : pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成16年度青森県理学療法士会研究助成公募のお知らせ

学術局々長 長谷川 至

青森県理学療法士会では、士会員の積極的な研究活動を推進および支援することを目的に、一昨年度から研究助成制度をスタートさせました。

これから研究を新たに始めようと考えている方、これまでの研究を継続しようと計画している方は振るってご応募ください。多くの士会員、中でも若手のエントリーをお待ちしております。

【16年度研究助成のQ & A】

Q1. どんな研究テーマなら応募できるの？

理学療法の発展に寄与・貢献するものであれば、テーマ（実験、調査、社会活動の効果などに関する研究）は特に問いません。

助成選考対象となるテーマについては、遠慮なくお問い合わせ下さい。

Q2. 応募資格は？

応募者または研究代表者は青森県理学療法士会会員でなければなりません。

Q3. 助成額はいくら？

助成総額は10万円です。助成額は選考委員の審査をもとに決定されます。

Q4. 助成件数は？

応募状況にもよりますが、2件までとします。

Q5. 助成金の使い道は？

研究に必要と認められる経費、例えば消耗品費、機材購入費、打ち合わせ経費、研究協力者へのお礼（被験者等への謝金）等であればOKです。ただし、学会や研修会等への旅費や参加費として使うことはできません。また、機材購入のみを意図した使い方はできません。

Q6. 選考委員は誰？

選考委員は、研究助成選考委員5名（学術局長を含む）内規により学術局長が選任する。

Q7. どうやって選考するの？

選考委員5名がそれぞれ提出された書類内容を審査し、最終的に合議により採択するかどうかを決定します。選考結果は学術局から各応募者に通知され、また、青森県理学療法士会ニュー

スにも掲載されます。

Q8. 研究助成を受けた場合に遵守しなければならないことは？

以下の ~ を遵守しなければなりません。

平成16年度青森県理学療法士学会での研究成果発表

「理学療法研究」22号（17年3月発行予定）

または23号（18年3月発行予定）への論文掲載

収支報告書の提出（学術局長宛，様式3-1，2を使用のこと）

Q9. 今後のスケジュールは？

応募期間：平成16年4月1日～6月18日

選考期間：平成16年6月21日～6月30日

研究期間：平成16年7月1日～平成17年1月31日

収支報告書提出：平成17年2月6日まで

研究発表：平成17年3月開催予定の青森県理学療法士学会

論文投稿：「理学療法研究」22号または23号の投稿規定に従う。

【応募要領】

1) 提出書類

ニュース巻末の様式をコピーするか，県士会ホームページから様式をダウンロードして，提出書類 ~ を作成して下さい。

または，下記問い合わせ先に応募書類を請求して下さい。

研究計画書 1部（様式1）

予算書 1部（様式2）

2) 提出期限

平成16年6月18日（金）必着

3) 提出および問い合わせ先

学術局長（長谷川）まで，郵送またはE-mailに添付して提出して下さい。

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻
長谷川 至 宛て

TEL & FAX： 0172-39-5981

E-mail： pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

～ 「臨床実習教育研修会」のお知らせ～

日程：平成16年7月31日（土），8月1日（日）

プログラム：

[7月31日（土）]

12：30 受付開始

12：55 開会

13：00 講演 「臨床実習教育の位置付け」

講師：潮見泰蔵（国際医療福祉大学）

14：10 講演 「理学療法実習指導の進め方（記録法を含む）」

講師：木村貞治（信州大学医学部保健学科）

16：30 講演 「情意領域の教育」

講師：荻島久裕（富山医療福祉専門学校）

[8月1日（日）]

9：00 講演 「技術領域の教育 - クリニカル・クラークシップを用いて - 」

講師：中川法一（関西医科専門学校開設準備室）

10：40 ワークショップ

12：30 昼食

13：30 発表、ディスカッション

15：00 修了書授与，閉会

会場：サンシップとやま 富山県総合福祉会館（富山県富山市安住町5-21）

受講費：8,000円

主催：（社）日本理学療法士協会，富山県理学療法士会

申込方法：ハガキ，FAXまたはE-mailに 氏名（ふりがな），所属施設名・住所・電話番号，経験年数，会員番号をご記入の上，下記にお送りください。

申込〆切：平成16年6月18日（定員30名、定員になり次第〆切）

申込先：〒930-8550 富山県富山市西長江2-2-78

富山県立中央病院 リハビリテーション科 瀬川直子

TEL076-424-1531 FAX076-422-0667

E-mail：byoin14@pref.toyama.lg.jp

～ 理学療法士求人情報～

医療法人平成会 八戸平和病院

募集職種：理学療法士 若干名

待遇：詳細は面談にて

問合せ先：八戸平和病院 リハビリテーション科

〒031-8545 八戸市湊高台2-4-6

TEL：0178-31-2222

E-mail：rh@heiwa-hp.or.jp

担当：菅原由香（作業療法士）

【財務部通信】

会費自動引き落とし者へ

平成16年度の自動引き落としが 5月27日(木)に行われます。通帳残高確認を各自でお願いします。

会費自動引き落とし以外者へ

会費納入方法は下記の通りです。

士会費 12,000円の振込先 振込み手数料210円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000円の振込先 振込み手数料120円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 平成16年度会費 1名分 佐藤洋 8692 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい（昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれば送付します）。また、どうしても6月15日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい（振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む）。どうぞ御協力をお願いします。

不明な点は 黒石病院リハビリテーション科

佐藤 洋

TEL 0172-52-2121(217)

【ニュース編集部通信】

No.254よりニュース編集部が三八支部に移動することになりました。それに伴い、ニュースの編集部長・編集委員及び三八・上十三支部の担当が下記のとおり変更となっております。

連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。ご不明な点などにつきましては、編集部または各支部担当者までお問い合わせ下さい。

次回の原稿締切は、平成16年5月21日(金曜日)です。

原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、下記の各支部担当に

フロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、締切をご確認の上、

お早めにお送り下さるようお願い申し上げます。

青森県士会ホームページアドレス
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~aomoript/index.html>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：須藤 宗（あすなろ学園）

〒038-0003 青森市石江字江渡 101 TEL 017-781-0174 FAX 017-766-4396

E-mail：ptasunaro@hotmail.com

（リハ科全体のアドレスのため，本文中に宛名が必要）

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山 10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail：ptsilver4000@yahoo.co.jp

（リハ科全体のアドレスのため，本文中に宛名が必要）

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添 30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail：reimeipt@h7.dion.ne.jp

（リハ科全体のアドレスのため，本文中に宛名が必要）

事務局ニュース編集部長；梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢 3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail：pt.umemura@hmc.ac.jp

編集委員；伴 久美子（黒石病院）

須藤 宗（あすなろ学園）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

佐々木幸重（十和田東病院）

外交局広報部（HP 担当）；安田 友久（青森労災病院）

編集後記

今年度4月からニュース編集委員が上記のとおり変わることになり，その編集部長を務めることになりました梅村です。よろしくお祈いします。これからも先輩方が作ってこられた士会ニュースを汚さぬよう様々な情報を正確に，見やすく会員の皆様にお届けしたいと思ひます。

何事も初めての経験でまだまだ不慣れなところがあり，皆様にご迷惑をおかけすることもあると思ひますが，ぜひとも御協力のほどよろしくお祈い致します。この県士会ニュースは皆様の協力があって出来上がるものと思ひますので，原稿の協力もお祈いしたいと思ひますが，何か良いアイデア，載せたい原稿などがありましたら，どんなことでも構いませんのでぜひとも御一報くださいますようよろしくお祈いします。
（文責：梅村）

奥付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216

南津軽郡常盤村榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp

<様式1>

研究助成申請用紙（研究計画書）

青森県理学療法士会

申請者氏名		会員番号	
勤務施設名			
共同研究者氏名 （勤務先・職種）			
研究課題 （タイトル）			
研究の意義			
研究目的			
研究方法			
予想される結果			
倫理的配慮			

<様式2>

助成希望額と使途（予算書）

青森県理学療法士会

申請者氏名	
研究課題	
助成希望額	円（上限 100,000 円）

分類	項目	金額
消耗品費		
機材購入費		
打ち合わせ経費		
謝金		
その他の経費		

消耗品費：計測・記録用物品（紙・筆記具類，写真フィルム，視聴用テープ類，フロッピーディスクなど）

機材購入費：記録用または計測用機器，ソフトウェアなど

打ち合わせ経費：資料代，打ち合わせのための交通費

謝金：被験者へのお礼，物品借用に対するお礼

その他の経費：上記の範疇に含まれない支出（ただし，社会通念上妥当と認められる経費であること），

なお，飲食費，学会や研修会等への旅費や参加費は認められない。